

# 議会運営委員会

日 時 平成28年8月29日(月)午前10時～  
場 所 第3委員会室

---

- 1 平成28年9月亀岡市議会定例会について
  - (1) 招集告示 8月29日(月) 告示第 号
  - (2) 開 会 9月 5日(月)
  
- 2 議案の概要説明について
  
- 3 定例会日程 ...【別紙 1】
  - (1) 一般質問通告期限 9月 5日(月)正午  
一般質問順序・・・ 緑風 公明 新清流 共産
  - (2) 請願書提出期限 9月 5日(月)午後5時
  - (3) 質疑通告期限 9月13日(火)一般質問終了時
  - (4) 意見書等提出期限 9月28日(水)午前10時
  - (5) 討論通告期限 9月28日(水)午後4時
  - (6) 市民憲章唱和 9月13日(火)午前9時50分  
唱和代表 田中議員
  
- 4 開会日(9月5日)議事日程
  - 諸報告
  - 第1 会議録署名議員指名(木曾議員、湊議員)
  - 第2 会期決定(25日間)
  - 第3 第1号議案から第56号議案まで(提案理由説明)
  - 諸報告
    - ・ 予算継続費の精算報告(1件)
    - ・ 地方自治法第180条関係(4件)
    - ・ 監査結果報告(例月)
    - ・ 理事者出席要求

【裏面に続く】

5 一般質問通告について

(1) 通告書について

○記入注意事項 ...【別紙 2】

○事務局へメール送信

(2) 質問時間 答弁を含め1人45分

(3) 会派内質問順序 9月2日(金)までに事務局へ連絡

6 陳情・要望について

なし

7 決算審査について

(1) 事務事業評価について ...【別紙 3~7】

(2) 亀岡市総合戦略に係る交付金事業の説明について ...【別紙 8】

8 その他

エコオフィス期間

写真撮影許可

本日(8/29)の予定

午後 会派会議終了後 広聴部会、広報広聴会議、広報部会  
議会運営委員会予定

9月 2日(金) 10:00 (議会基本条例検討)

9月12日(月) 14:00 議会運営委員会事前調整(正副委員長のみ)

9月13日(火) 一般質問終了後

9月28日(水) 13:00 議会運営委員会事前調整(正副委員長のみ)

9月28日(水) 14:00

9月29日(木) 午前中 決算分科会委員長会議終了後

# 平成28年9月亀岡市議会定例会日程表案〔詳細版〕

【会期25日間】

日	曜日	会 議 等	備 考
8/26	金	10:00～ 市長・議長議案調整 11:00～ 議運事前調整	議案概要
27	土		
28	日	主要施策の報告書配付	
29	月	【招集告示】 10:00～ 議会運営委員会（市長出席）・幹事会 13:30～ 会派会議 終了後 広聴部会、広報広聴会議、広報部会	議案
30	火		
31	水		
9/1	木		
2	金	10:00～ 議会運営委員会（基本条例検討）	
3	土		
4	日		
5	月	10:00～ 【本会議（開会、諸報告、署名議員、会期、提案理由）】 <12:00 一般質問通告期限> <17:00 請願書提出期限>	議事日程、監査報告 出席要求、提案理由
6	火		
7	水		
8	木		
9	金		
10	土		
11	日		
12	月	13:00～ 市長・議長議案調整（追加議案） 14:00～ 議運事前調整	追加議案概要
13	火	【本会議（一般質問）】 （一般質問終了後）議会運営委員会（市長出席）・幹事会 <一般質問終了時 質疑通告期限>	議事日程 付託表、請願文書表 追加議案
14	水	【本会議（一般質問）】	議事日程
15	木	【本会議（一般質問、提案理由、質疑、付託）】	議事日程、提案理由
16	金	各常任委員会	
17	土		
18	日		
19	月祝	（敬老の日）	
20	火	10:00～ 決算特別委員会 全体会（市長出席）、各分科会	
21	水	10:00～ 決算特別委員会 各分科会	
22	木祝	（秋分の日）	
23	金	10:00～ 決算特別委員会 各分科会	
24	土		
25	日		
26	月	10:00～ 決算特別委員会 各分科会	
27	火	10:00～ 決算特別委員会 各分科会、全体会 決算分科会委員長会議	指摘要望一覧、事務事業 評価一覧
28	水	委員会（予備日） <10:00 意見書提出期限> 10:00～ 市長・議長議案調整（人事議案） 11:00～ 会派会議 13:00～ 議運事前調整 14:00～ 議会運営委員会・幹事会 <16:00 討論通告期限>	人事議案、意見書案
29	木	10:00～ 各常任委員会、決算分科会委員長会議 議運事前調整、議会運営委員会・幹事会、会派会議 午後 【本会議（委員長報告～採決、人事議案、閉会）】 広報広聴会議	意見書案、審査結果 議事日程

記入のしかた

平成28年 月 日

亀岡市議会議長 様

亀岡市議会議員

平成28年9月定例会 一般質問通告書

会派名： \_\_\_\_\_ (代表・個人)

質問方法 ( 一 括 ・ 一問一答 )

次のとおり通告します。

**体裁**  
 ・ 字体：MSゴシック・フォントサイズ10・全角英数字  
 ・ 表のサイズを変えない。  
 ・ ページがまたがる場合は表を分割しない。

質問の意図が伝わるよう、まず、質問の趣旨・背景(課題や問題点等)を3~5行以内に要約して簡潔に記入。  
 (原稿をそのまま掲載しない。)

質問事項	質問趣旨	答弁者
1 について  質問要旨に係る項目を項番号(スペース)・「~について」等で記入。質問の順序は、機構の建制順( )を原則とするが、質問構成の意図による順序立ても可とする。	(1)  (2) ○○○○  そして、質問内容を(1)(2)...の箇条書きの質問形で具体的に記入。 (「~について」は質問とならない。)	質問事項の項ごとに答弁者を記入 ・ 市長 ・ 担当副市長 ・ 病院事業管理者 ・ 教育長 ・ 所管部長 ・ 行政委員会の委員長等
以下、例示		
2 空き家の適正管理について	空き家の放置は、近隣の生活環境を阻害し、不審者の侵入や放火などを誘発する恐れもある。また、災害時に倒壊する危険や住民の避難活動の妨げにもなりかねない。生活環境の保全、災害時の安全確保、犯罪の未然防止の観点から空き家の適正管理が求められる。 (1) 空き家の調査をどのような頻度で行い、市内に長期間放置された空き家がどれくらい存在するか把握しているか。 (2) 管理不十分な空き家は近隣住民にとって危険な箇所と認識しているか。 (3) 空き家の所有者に対してどのような呼びかけ、連絡を行っているのか。 (4) 空き家の管理や処分を行う条例を制定する考えはあるか。	市長 所管部長

質問要旨に係る項目を項番号(スペース)・「~について」等で記入。質問の順序は、機構の建制順( )を原則とするが、質問構成の意図による順序立ても可とする。

そして、質問内容を(1)(2)...の箇条書きの質問形で具体的に記入。  
 (「~について」は質問とならない。)

質問事項の項ごとに答弁者を記入  
 ・ 市長  
 ・ 担当副市長  
 ・ 病院事業管理者  
 ・ 教育長  
 ・ 所管部長  
 ・ 行政委員会の委員長等

**組織機構の建制順**  
 市長公室・企画管理部・生涯学習部・総務部・環境市民部・健康福祉部・産業観光部・まちづくり推進部・土木建築部・会計管理室・上下水道部・市立病院・教育委員会・選挙管理委員会・公平委員会・監査委員・農業委員会

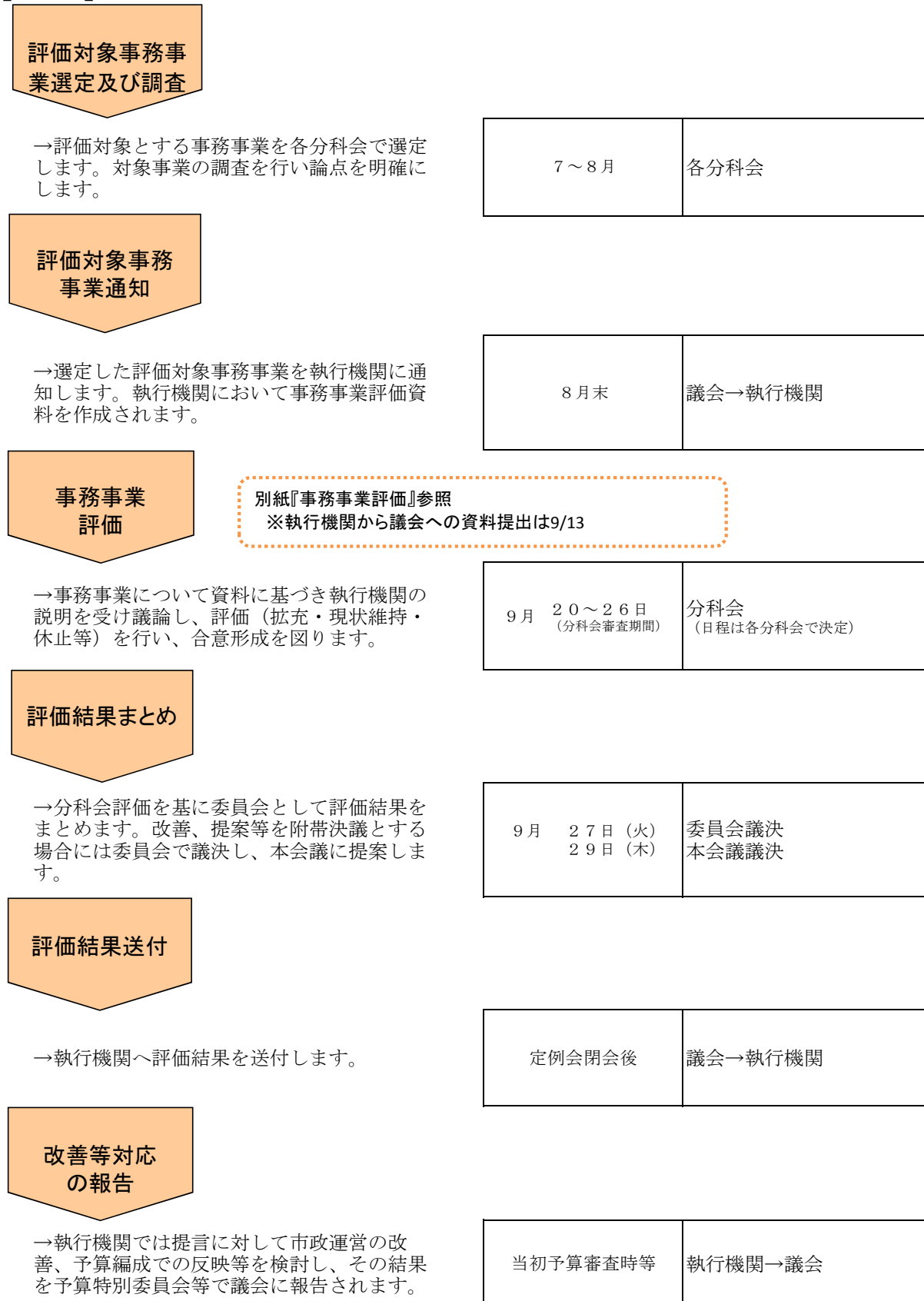
**注意点(先例・申合せ118)**  
 ・ 質問は、具体的に記載すること。  
 ・ 質問項目は、市政における一般事務の範囲内であること。  
 ・ 質問項目は、会派内で重複しないこと。

## 事務事業評価【平成28年9月定例会決算審査】

### 【目的】

決算審査において、実施された事務事業の効率性や成果などを議会が議論し、評価することで、その結果を今後の事務事業の点検、改善及び予算編成に活かし、より効果のある市民福祉の向上に資する事務事業の実施を目的としています。

### 【フロー】



## 事務事業評価

日程

各分科会で決定

### 担当部・事務事業ごとの評価フロー

(担当部入室)

担当部説明

担当部から説明を受けます。  
(事務事業評価資料に基づく)



質疑・  
個人  
評価

評価の判断材料として、説明に対する質疑を行います。  
委員の意見を出し合い、自由に討議を行います。  
質疑・討議を行いつつ各委員が個人評価を行います。(個人評価表の記入)



まとめ

個人評価から分科会の評価結果をまとめます。  
○評価(拡充、現状維持、休止等)の決定  
○評価に至った理由等  
※ほぼまとまった段階で、担当部の意見を求めます。

(担当部退室)

## 平成27年度決算 事務事業評価対象事業（H28.9実施）

### 総務文教分科会

- 1 生涯学習推進経費  
（財団活動経費（生涯学習かめおか財団補助金）、生涯学習賞経費）
- 2 地域イントラネット管理経費
- 3 要保護・準要保護児童生徒援助経費（小学校費・中学校費）
- 4 放課後児童対策経費

### 環境厚生分科会

- 1 ごみ減量・資源化等推進事業経費
- 2 生活困窮者自立支援事業経費
- 3 老人クラブ育成経費
- 4 地域生活支援事業経費

### 産業建設分科会

- 1 商店街等活性化推進事業
- 2 公園緑地管理経費







# 平成27年度決算事務事業評価資料(H28.9審査)

<記入例>

					担当課	議会事務局
一般会計	款	議会費	項	議会費	目	議会費
対象事務事業名	議会だより発行事業				主要施策報告書	〇〇ページ
目的	事業の目的は何か	市民に積極的な情報公開を行い、説明責任を果たすこと。 透明性を高め、市民に開かれた議会とすること。 それらにより、市民の議会や市政への関心が高まり、市民の市政参加が進むこと。 (議会基本条例第3条議会の活動原則、第16条広報広聴の充実)				
手法・活動実績	目的達成のために行った手法は何か	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金支給 <input type="checkbox"/> その他(                      )				
	目的達成のために行った活動とその実績は何か	・広報広聴会議で編集。 (各号の編集にあたり広報広聴会議を概ね1回、広報部会を複数回開催) ・議会だよりの発行、全戸配布及び主要公共施設への配置。 (定例会号(年4回)+臨時号(年1回)を1回あたり約31,870部発行)				
成果	目的に対する成果は何か	市民の議会や市政への関心が高まり、市民の市政参加が進むこと。 ・内容の充実度「議会の活動が伝わってくる」52.8%(議会報告会アンケート平均値) ・本会議傍聴者数357人、インターネット中継年間アクセス数ライブ5,937件、録画15,524件				
コスト	事業に係る経費は	内訳	金額	説明		
		定例会号 1部当たり13.5円、127,650部発行	1,723,275	需用費(印刷製本費)、定例会号表裏、4、5、8、9頁カラー、その他1色、全16頁、臨時会号 全カラー4頁		
		臨時号 1部当たり5.292円、31,700部発行	167,756	3月号32,000部、6月号31,800部、9月号31,850部、12月号32,000部、臨時会号31,700部		
		計	1,891,031			
	事業に携わった職員数は	0.25人 × @7,348,000=	1,837,000	※		
		合計				3,728,031
財源	上記経費に対する財源(特定財源のみ)は	内訳	金額	説明		
		一般財源のみ				
		計	0			
課題・方向性	今後の課題は何か	議会だよりに対する市民ニーズを把握し、掲載内容の充実に努め、より多くの市民に読んでいただくこと。 如何にして物事が決定されていくのか、その審議状況をよりわかりやすく伝えていくこと。				
	今後の方向性はどうか	議会だよりは、編集委員会、広報広聴特別委員会、広報広聴会議と編集組織を充実発展させる中で、議員自らが主体的に編集に携わっている。議会活動を市民に伝えることはもとより、議会が自らの活動を再認識する大きなツールととらえている。今後も、課題を解決しながら、目的達成に向けて引き続き、議会だよりを発行する。				

※職員の平均人件費を参考数値として示している

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型） 亀岡市評価シート

< 凡例 >  
 A：成果が十分に上がっている  
 B：相当程度の成果がある  
 C：成果が不十分である

事業名	担当課	申請額	実績額	事業概要	取組内容と成果	重要業績評価指標（KPI）			所管課		外部有識者等会議
						項目	目標値(H28.3)	実績値	評価	特記事項	委員意見
1 亀岡市総合戦略策定事業	企画調整課	7,000,000	6,284,700	本市の特性を踏まえ、地域の活性化を生み出す「亀岡市総合戦略」を策定するために、必要な専門的な調査等を実施する。	平成26年に成立した「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、「後期基本計画」との整合性を図りつつ、「亀岡市人口ビジョン・総合戦略」を平成28年2月15日に策定し公表した。 ・亀岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議の開催 ・亀岡市人口ビジョン・総合戦略の策定（H28.2.15策定・公表）				A	今後、KPIの達成度を効果検証し、必要に応じ戦略の見直しが必要となる。	
2 元気企業支援事業	ものづくり産業課	11,000,000	9,291,000	市内中小企業への訪問活動等を通じて、活動状況や展開意向、支援ニーズを把握し、新製品・新技術の開発や販路開拓、職場内の問題解決や活性化等の研究に対しその経費の一部を助成する。	かめおか元気企業支援助成の公募を実施し、21件を交付。（1次募集H27.4.1からH27.5.15、2次募集H27.7.21からH27.8.31） また、H27.4.1からものづくり産業専門支援員を配置し、かめおか元気企業支援助成交付事業者の伴走支援及び113事業者への巡回相談を実施。 事業評価については、学識経験者等の委員で構成する平成27年度亀岡市ものづくり産業振興会議（H28.2.23開催）において行った。	助成交付件数	15件	21件	A	今後も、亀岡市ものづくり産業振興ビジョン(H25.3策定)に基づき、振興施策として各機関と連携した支援を継続する。	
						企業訪問件数	5事業所	113事業所			
3 ものづくり産業雇用支援事業	ものづくり産業課	10,000,000	11,504,062	市内事業所における市民の新たな正規雇用に対して助成金を交付し、市民の安定的かつ長期的な雇用を促進し、他市町村からの転入者を含む市内住民の定住促進及び人口増加を図る。	平成27年度は、113事業者へ企業訪問を行い制度の周知を図った。その結果、制度が浸透し、正規雇用の増加につながった。 事業評価については、学識経験者等の委員で構成する平成27年度亀岡市ものづくり産業振興会議（H28.2.23開催）において行った。	当該事業により市内事業所に新たに正規雇用された市民	30人	42人	A	企業訪問や関係機関との連携に努め、制度周知のための取組み等を図る中で、当該助成制度の更なる活用を推進し、積極的な企業支援を促進する。	
4 地域商品券キャッシュレス環境整備事業（地方消費促進事業）	ものづくり産業課	6,500,000	6,500,000	市内で利用できる電子媒体（電子マネー）の環境整備を推進し、消費の市外流出を抑制し、地域経済の振興を促す。	多様化している消費者ニーズと購買動向に対応するため、カード決済が可能な小売店舗の商業環境を整えるため、地元商店39店舗にICカード端末機を設置した。 また、既存の商業カードの利用も促進させ、更に消費の拡大と地元商店への誘客を図るための商業基盤を整備した。	加入店件数	30店舗	39店舗	A	今後、電子マネー決済・カード決済ができる店舗を増加させ、商業インフラの充実をはかり、地域経済の活性化を促進する。	
5 創業バウチャ事業	ものづくり産業課	7,000,000	1,475,000	市内における創業を促進するため、起業時における費用負担を行い、地域経済の新陳代謝による活性化を図る。	申請者に対し、融資額の3%、広告宣伝に要した費用の50%を助成した。 ・亀岡市創業支援助成金交付要綱の制定 ・キラリ 亀岡おしらせ・亀岡市ホームページ等による事業広報	当該事業を通じた創業件数	20件	7件	B	創業件数（申請数）は目標に達しなかったが、一定の創業件数があり、今後地域商工業の振興のために、当該事業を促進していく必要がある。	

< 凡例 >  
 A : 成果が十分に上がっている  
 B : 相当程度の成果がある  
 C : 成果が不十分である

	事業名	担当課	申請額	実績額	事業概要	取組内容と成果	重要業績評価指標 ( KPI )			所管課		外部有識者等会議
							項目	目標値 (H28.3)	実績値	評価	特記事項	委員意見
6	地域商業活性化事業	ものづくり産業課	6,000,000	6,000,000	地域資源を活用した「まちバル」「100円商店街」を開催し、商業店舗や地域の特産品などを知ってもらうとともに、利用拡大を促し商業振興に繋げていく。	・10/30～11/1「街バル2015&こどもバル開催（大井町）」 ・10/31～11/3「540プラスバル開催（アルプラザ亀岡店）」 ・11/7「うまほりハロウィンバル開催（馬堀駅前）」 ・11/21「亀岡駅前100円商店街開催（亀岡駅前等）」 ・2/27「うまほり100円商店街開催（馬堀駅前）」 ・キラリ 亀岡おしらせ・亀岡市ホームページ等による事業広報	フリット販売総数 （まちバル）	900冊	602冊	A	通常のイベントと比べて、直接各店舗の売上・PRに効果があり、売上アップ目標も達成できた。新規性も高く、来場者も目に見えて多かった。今後はマンネリ化しないよう、リニューアルを繰り返しながら、事業の継続を考えていく必要がある。	
					出店総数 （まちバル）	60店舗	69件					
					出店総数 （100円商店街）	60店舗	128店舗					
					事業開催1ヶ月後の個展売上（共通）	10%増	19%増					
7	観光地のインバウンド向け多言語表示事業	観光戦略課	5,824,000	10,134,504	にぎわい交流人口の拡充に向け、外国人観光客の誘致等のインバウンドを推進する上で欠かすことのできない、観光看板の言語バリアフリー化や多言語版パンフレット作成等、外国からの観光客誘致を図る。	多言語版観光看板作成 駒札 3基 道標 1基 多言語版るるぶ京都亀岡特別編集作成 英、韓、繁体、簡体字各5万部 日本語 10万部 レンタサイクルマップ作成・増刷 市内4エリア分 英、繁体字 各1.5万部 韓、簡体字 各1万部 日本語 2.5万部	外国人入込客数 （1%増）	29,222人 （H27.12）	48,304人	A	外国人入込客数が急増する中、作成したパンフレット等を活用した観光案内を実施することができた。増刷時等に、観光客のニーズに応じた内容等の変更等が必要である。	
					るるぶ京都亀岡特別編集配布数	20,000部	115,175部					
					るるぶ京都亀岡アプリダウンロード数	2,200件	4,973件					
8	海外メディアコンテンツ「関西印象～亀岡・嵯峨・嵐山～」等作成・配信事業	観光戦略課	2,700,000	2,700,000	国外市場へ配信できる映像データ等を制作し、海外メディアへ広く情報を発信することで、本市知名度の向上、外国からの観光客誘致を図る。	世界的観光都市、京都市からもう一足伸ばして亀岡へ来ていただけるよう、中国メディアへ情報発信を行った。 ・本市内の魅力ある観光地を盛り込んだツアー番組を制作し、上海テレビの「関西印象」で放映。当該番組の画像データについてはDVD化し、中国市場向けプロモーション資料として活用した。	外国人入込客数 （1%増）	29,222人 （H27.12）	48,304人	A	外国人入込客数が急増、特に訪日外国人旅行者数が最も多い中国本土へ向け、本市知名度の向上を図ることができた。今後も、今回作成したDVDを活用して、中国市場向けプロモーションを行っていく。	
					海外向け30分番組作成	1本	1本					
					海外TV番組放映回数	1回	1回					
					海外動画サイトへの掲載	1回	1回					
9	観光セールスプロモーション支援事業（販路開拓支援事業）	観光戦略課	1,100,000	1,723,943	本市観光振興及び地域経済の活性化のため、国内のみならず、アジア諸国などから外国人観光客の誘客を図り、賑わい交流人口を拡充する。	国内外に向けた各市場の特性に合わせた効果的な観光誘客プロモーション等を実施した。 旅まつり（旅行博）及び首都圏への観光プロモーション等 3回 458千円 台湾での京都丹波観光プロモーションの実施 2回	台湾でのプロモーション実施回数	2回	2回	A	台湾（台北、台中、台南）、東京、名古屋の旅行社を訪問し、ツアー造成担当者等へ直接、本市の魅力を伝えることができた。今後においても、ツアー造成いただくため、シーズンごとに最新の情報を提供する必要がある。	
10	外国人観光客向け観光案内所窓口強化事業	観光戦略課	4,872,000	7,422,840	外国人観光客が、必要な情報をすぐに得ることができ、本市の観光を楽しんでいただけるよう、観光案内の言語バリアフリー化を推進し、満足度の高い「おもてなし」の環境を整備する。	多くの外国人観光客が利用される、JR亀岡駅観光案内所及びトロッコ亀岡駅観光案内所に、英語で観光案内できる人材をそれぞれ1名配置した。 JR亀岡駅観光案内所に続き、トロッコ亀岡駅観光案内所においても日本政府観光局認定「外国人観光案内所 カテゴリー1（常駐でなくとも何等かの方法で英語対応可能、地域の案内を提供できる）」の認定を取得する等、外国人観光客のニーズに応じた案内業務を行うことができた。	外国人入込客数 （1%増）	29,222人 （H27.12）	48,304人	A	本市の観光を楽しんでいただけるよう、観光案内の言語バリアフリー化を推進することができた。今後も増加が見込まれる外国人観光客のニーズに応じた観光案内を行うことで、本市内の観光地を巡っていただき、観光消費額の増と、SNS等による本市観光情報の拡散を図る。	
						訪日外国人旅行者案内数 ・JR亀岡駅観光案内所	2,700人	3,689人				
						訪日外国人旅行者案内数 ・JRトロッコ駅観光案内所	11,000人	24,397人				

